

平成 30 年 3 月 1 日
 鹿児島地方気象台

九州南部・奄美地方の冬（12月～2月）の気候統計値

九州南部の地域平均気温平年差は - 1.4 とかなり低くなり、32 年ぶりの低温となった。

12月：九州南部では、月の前半は高気圧と気圧の谷が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となり、東シナ海側では強い寒気の影響で雲が広がりやすくなりました。後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。奄美地方では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

1月：低気圧や前線が数日の周期で通過し、雨の降った日がありました。低気圧や前線の通過後は冬型の気圧配置となった日が多く、上旬の終わりから中旬のはじめにかけては、発達した低気圧や強い寒気の影響で荒れた天気となった所がありました。その他の日は、九州南部では晴れた日が多くなりましたが、奄美地方では前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

2月：中旬のはじめまでは冬型の気圧配置となりやすく、九州南部の太平洋側では晴れた日が多くなりましたが、九州南部の東シナ海側と奄美地方では寒気の影響で雨または雪の降った日が多くなりました。その後は高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。

平均気温：全ての地点で「低い」となり、延岡、阿久根、枕崎では「かなり低い」となりました。

降水量：全ての地点で「平年並」か「少ない」となりました。

日照時間：屋久島と名瀬では「少ない」となりましたが、その他は「平年並」か「多い」となりました。

2018年冬の気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級				
	()	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)			
宮崎県	宮崎	7.3	(-1.2)	-	165.5	(78)	18	592.3	(109)	+	
	延岡	6.1	(-1.5)	-*	124.0	(70)	14	611.3	(110)	+	
	都城	5.7	(-1.3)	-	191.0	(87)	19	516.7	(105)	+	
	油津	8.3	(-1.4)	-	184.0	(67)	-	20	504.2	(102)	+
鹿児島県	鹿児島	8.2	(-1.4)	-	222.5	(86)	24	428.8	(103)		
	阿久根	7.1	(-1.5)	-*	208.5	(83)	-	26	343.5	(97)	
	枕崎	8.1	(-1.6)	-*	300.0	(102)	29	355.1	(98)		
	屋久島	11.2	(-1.2)	-	711.5	(87)	38	198.8	(84)	-	
	種子島	11.0	(-1.4)	-	294.0	(104)	26	341.7	(104)		
	名瀬	14.8	(-0.7)	-	439.5	(85)	-	45	170.4	(88)	-
	沖永良部	16.5	(-0.4)	-	190.5	(61)	-	31	242.2	(90)	

(注意)・「階級」の欄の符号は、+ :高い(多い) - :平年並 - :低い(少ない)ことを示す。また、階級が「高い(多い)」「低い(少ない)」となった地点のうち、1981～2010 年の中で、高い(多い)方または低い(少ない)方から 10%に入る極端な値である場合には、階級の「+ -」に*を付加した。この場合には +* :かなり高い(多い) -* :かなり低い(少ない)と表現できる。

・値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめたい。

2018 年冬の気候統計値に 3 位以内の順位更新はありませんでした。

問合せ先：鹿児島地方気象台 季節予報担当

電話 099-250-9912 (内線 241・242) FAX 099-255-4234